事務事業評価＆総合計画実施計画調査シート

	コード	名　　称	区分	コード	名　　称
事業名	1164	我山･出屋敷･比土･古郡簡易水道再編推進事業（国補）	会計	04	簡易水道事業特別会計
			款	01	簡易水道費
基本施策	21	安全でおいしい水道水を安定供給する	項	02	簡易水道整備事業費
			目	02	統合簡易水道整備事業費
施策	4	水道施設整備の充実	細目	101	簡易水道改良事業
			細々目	05	我山･出屋敷･比土･古郡簡易水道整備事業（国

基本計画該当頁	106	行革大綱の重点事項番号	

担当部課	コード	340300	評価者氏名	西山　治良	連絡先	24 - 0002
	名称	水道部　施設課				(内線) 14

事業種別	継続	補助	事業類型	III	整備事業	2次評価対象分

事業実績

活動指標	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
		目標	—	目標			
		実績		実績			
		目標	—	目標			
		実績		実績			
		目標	—	目標			
		実績		実績			

事業の計画･内容

	対象等（何を、誰を）	成果（どうなるのか）
事業目的	我山･出屋敷･比土･古郡地区の簡易水道加入者 （※対象件数　527戸1571人	水道水が安定供給される。

根拠法令･要綱等	水道法、水道法施行令、水道法施行規則、国庫補助金交付要綱		
開始年度	平成　12　年度	関連事業	
終了年度	平成　19　年度		
本年度事業内容	伊賀水道用水を受水し、上水道に統合することにより安定性･安全性のより高い施設の構築に加えて、経営の効率化、維持管理しやすい水道システムの構築、また、既存施設の改良及び更新により質的充実を図る。 加圧ポンプ施設　1式、配水池改良　1式、配水管φ150-75 4.3km　舗装復旧　1式、調査費　1式、事務費　1式	状況変化等	管路施設の更新により、赤水の発生を防ぐことと、舗装復旧により通行の安全を図る。

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
老朽管の更新率	更新した管の延長9145.6/16,460地区内の老朽管延長	%	目標	64	目標	85	100	—
			実績	64	実績	85		
老朽管による漏水発生回数	施設改修により事故や有収率の向上が図られる。	回	目標	—	目標	—	0	0
			実績	2	実績	1		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	4簡易水道は老朽化しており水道管破裂事故や濁水などが発生するため、早急に安定した水道水を供給しなければならない。
有効性	4	老朽管の布設替えは、濁水を解消し漏水防止に有効である。
達成度	4	18年度事業計画どおり実施した。
効率性	4	老朽管路の更新により、管路の破裂による修繕を解消し、断水等の事故を防ぐことによりコスト縮減が図れる。 価格設定については、厚生省主管水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表及び三重県県土整備部監修の歩掛表に基づき適正に処理している。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	

整備内容

1 建設用地	配水池改良　SUS　220㎥ 送水施設ポンプQ=0.56㎥/min
2 建設面積（延床面積）	送水管　φ150mmL=1,100m 配水管　φ150mmL=3,240m
3 規模･構造	配水管　φ100mmL=6,876m φ75mm以下L=4,669m
4 総事業費	648,171　千円

運営体制

1 運営主体	
委託先	
2 配置（予定）人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

進捗状況

年度	16	17	18	19
委託	⟷	⟷		
工事		⟷	⟷	
進捗率(%)	16	64	85	100

事業内容

	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容			
	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
				(千円)				(千円)				(千円)
	送水管φ150	1	km	21,516	加圧ポンプ施設	1	式	23,108	配水管φ100-50	3	km	69,056
	配水施設	1	式	240,218	配水池改良	1	式	107,852	舗装復旧	1	式	16,000
	調査費	1	式	13,182	配水管φ150-75	4	km	86,432	事務費	1	式	1,644
	事務費	1	式	3,784	舗装復旧	1	式	12,817				
					調査費	1	式	8,457				
					事務費	1	式	2,834				
	事業費計(A)		Σ	278,700	事業費計(A)		Σ	241,500	事業費計(A)		Σ	86,700
事業投入人員	人件費(B)	1.5	人	10,800	人件費(B)	1.5	人	10,800	人件費(B)	1.5	人	10,800
フルコスト　(A)＋(B)				289,500				252,300				97,500

	平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容			
	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
				(千円)				(千円)				(千円)
事業費計(A)			Σ	0	事業費計(A)		Σ	0	事業費計(A)		Σ	0
人件費(B)			人	0	人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0
フルコスト　(A)＋(B)				0				0				0

事業費（人件費除く）の財源内訳

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
(A)	事業費	278,700	241,500	86,700	0	0	0
Aの財源内訳	国庫支出金	92,900	80,500	28,900			
	県支出金						
	地方債	185,800	161,000	57,800			
	受益者負担						
	その他						
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	計	278,700	241,500	86,700	0	0	0
備考	その他特定財源の名称･補助基本額･率 地方債の区分と充当率等	簡易水道再編推進事業 事業費に対する補助率1／3 地方債(補助以外)　2／3	簡易水道再編推進事業 事業費に対する補助率1／3 地方債(補助以外)　2／3	簡易水道再編推進事業 事業費に対する補助率1／3 地方債(補助以外)　2／3			